

深い泉

The Deep Fountain

+幸せを探すあなたへ

繰り返す人生問題
どこから解くべきなのですか

「また死にましたか」 近頃、最高の人気ドラマ「花より男子」が放送を開始してから、事故が連続しています。繰り返す交通事故、今回、知らされたチャン・ジャヨンの自殺のニュースなど…。このニュースを聞いていた青年が言った言葉です。「また死にましたか」続く芸能人の自殺のニュース、繰り返す韓国大

企業の会長の家族の自殺と離婚のニュース、3男1女の不幸な死を味わわなければならなかった米国ケネディの家系、うつ病と薬物中毒で死ななければならなかったギリシャの船舶王オナシスの娘、全世界的に麻薬取り締まりが激しくなっている合間を縫って、オンラインではサイバー麻薬がいちばん盛んで、大学新生歓迎会で酒で死んだと絶え間なく聞こえてくるニュース、20代の女性が厄払いをしてあげるという言葉にのせられ、5年間、売春を強要され、その間、10億ウォンあまりをかせいで、豪華な生活をしたという霊媒師のニュースなど、ほんとうに大変なので「きれいに死ねます」という展示品まで登場したということです。このような、繰り返す人生の問題をいったいどのようにしなければならぬのでしょうか。

あなたも、もしかしたら 隠している悩みの中で、こういう生活を送っておられるのではないのでしょうか。善良で、誠実に暮らしているのに、しばしば困難が来るのではないのでしょうか。幻聴、幻覚、うつ病、不眠症、悪夢、うなされること、病名もない病気のために苦しんで、生年月日による運勢、運命に縛られて未来が不安ではないですか。家庭にいつも問題が多くて、家出したいくて、不安でいらだっていて、自殺したい衝動にかられる時が少なくないのではないのでしょうか。衝動を抑えることができず、酒、ギャンブル、淫乱、インターネット、麻薬に陥って、

苦しい生活を続けているのではないですか。お金も多くて、人気と名誉もあるのですが、真の安らぎがなくて、むなしくはありませんか。家系に続く災いの前に、いつも恐れで焦りながら生きているのではないですか。宗教生活をしながらも、罪悪感と問題の前に挫折して、落ち込んでいませんか。今日、直ちにこういう問題が解決される道があるならば、あえて信じない理由はないのではないのでしょうか。

どんな問題でも解決できる解答 聖書は本来人間には、こういう問題がなかったと、確かに語っています。神様が世の中を創造された時、魚は水の中で、鳥は空中で、木は地中に根をおろして生きるようにされました。そして、人間は神様のかたちに、神様と共に真の祝福を楽しむ存在として創造されたのです。ところが、エデンの園で最初の人間であるアダムとエバは、サタンのわなに陥って、神様との約束を破って神様を離れ、サタンの手に捕まった人生を生きるようになりました。この時から人間には、のろいと災いがくるようになり、奴隷の家で生まれた子孫が全部、奴隷になるように、この事件以後、すべての人は神様を離れた状態で不幸な生活を送るようになりました。この事件を原罪と言います。この時からすべての人間は、やむを得ずサタンがもたらす運勢と運命に縛られて、理解できない霊的問題と偶像崇拜の問題、精神問題、肉体の問題、家庭と子ども問題、来世(地獄)問題という人生の履歴書を持って生きるようになりました。このように人間に何の希望もない時、神様は人間が神様に会えるように、罪と運命から解放されるように、不幸の根源であるサタンの力から抜け出す道を約束してくださいました。十字架で死んで復活され、人間のすべての問題を解決するキリストを、この世に送ることにされました。その方がまさにイエス様です。このイエス・キリストを主人で私の中に受け入れる時、聖書に約束された通り、すべての運勢と運命から抜け出して、神様の子どもになる祝福を味わうようになります。「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイの福音書 11:28)

重職者伝道企画チーム

今日味わう

一生の 祝福



先延ばし病 どんな方法が人間を失敗させるのかということに対して悪魔3つが賭けをしました。最初に失敗を与えました。しかし、人間はむしろその失敗を機会にしました。二番目は、試練をもたらしました。ところが、人間は試練が大きければ大きいほど、さらに強く挑戦しました。二つの悪魔の失敗を見守った三番目の悪魔が意味深長な微笑をしながら人間に近づいて、このようにささやきました。「明日も時間があるじゃないか、今しなくても、後にでも君は十分にできるよ」KAISTのジョン・ジェスン教授は「先延ばし病は、現代人の社会的障害」と指摘しました。「今日歩かなければ明日は走らなければならない」というドストエフスキーの話を考えてみる時です。

一生を知って挑戦する重職者の今日 信仰とは、今日を持って明日を見ることです。そして、明日を先取りして今日を生きていくことです。それで、今日の勝利は明日の勝利で、今日の成功は明日の成功です。今日を生きながら明日を見られないならば、すでに失敗したのです。聖書に成功した人々は、みな未来の結果を知って今日を生きていました。偉大な伝道者パウロは、いつも今日の告白の中に「ローマも見なければならぬ!」という未来を入れていました。モーセは「わたしの民をエジプトから導いてカナンの地に行きなさい!」という未来を知って、今日、パロ王の前に立ちました。重職者の生活は、明日のための今日です。一生を知っている今日です。初代教会のガイオ長老は、一生、伝道者の家主として、毎日毎日を献身しました。プリスカ夫婦は、いのちをかけた一生の同労者として、毎日毎日伝道者を助けました。この時代、重職者である私は、いる現場で弟子を探して、弟子を助けて、弟子を立てる生活の証人です。全世界の隅々に福音の光を照らす弟子が立てられて、世界福音化が成されるように、私のローマに向かって挑戦する主役です。重職者が今日の人生の中で、福音と祈りで幸せであるならば成功したのです。私の生活を通して神様が証しされ、弟子が立てられたら成功したのです。私の生活が、神様が最も必要とされる時、用いられるならば、真の成功者です。世界福音化のための1千万弟子と次世代の土台、これが重職者が味わわなければならない生涯キャンプの祝福です。

神様の子どもになる
受け入れの祈り

愛の神様、私は罪人です。イエス様が十字架で死んで、復活されることによって、私のすべての問題を解決して下さったキリストであることを信じます。今、私の心の扉を開いて、イエス様を私の救い主として受け入れます。今、私の心の中に来て下さって、私の主人になって、私を導いてください。これから、神様の子どもになった祝福を味わいながら生きるようにさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



神様の子どもへの五つの確信

救いの確信：イエス・キリストを信じて受け入れたあなたは、神様の子どもになって救いを受けました(ローマ8:15~16、Iヨハネ5:10~13)

祈り答えの確信：神様の子どもはイエス・キリストのお名前前で何でも求めることができ、神様はみこころ通りに必ず答えてくださいます(ヨハネ15:7)

導きの確信：神様は聖霊であなただけの中におられ、あなたのすべての人生を治めながら導かれます(ヨハネ14:26~27、箴言3:5~6)

救いの確信：あなたのすべての罪はイエス・キリストのあがないの血の力で解決され、神様はだれでも罪を悔い改めれば許して下さい(Iヨハネ1:9、ローマ3:24)

勝利の確信：救われたあなたは、世の中に勝たれたイエス・キリストによって、どんな問題の中でも信仰で勝利することができます(ローマ8:31~37、Iヨハネ5:4)



神様の子どもへの毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。

今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに、福音を邪魔して困らせるすべてのサタンを権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

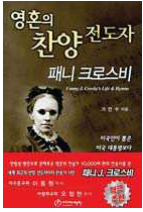
どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

私の生活を通して、イエス様がキリストであるということがあかしされるようにして、私の現場に神の国が臨むようにしてください。

毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

私の人生の苦難が繰り返す時 ヤコブの祈りを回復しなさい



最近、多くの人々が不景気のために難しいと言います。しかし、初代教会は不景気の時、最も大きい答えを受けて、ヨセフは全世界の不景気を活用して世界宣教をしました。歴史でも、聖書でも、成功した人々は、難しい時に神様の大きい栄光を現わしました。

クロスビーが会った人生のベテル 生涯、視覚障害者で、世界最高の賛美伝道者で、賛美詩人であったファニー・ジェイン・クロスビー (Fanny Jane Crosby, 1820 ~ 1915)。アメリカの人々が選んだアメリカ大統領よりさらに尊敬する今世紀最高の人物であり、韓国人が選んだ最も恵まれるベスト賛美歌の主人公です。1820年3月24日ニューヨーク南東部ブットナムで生まれた彼女は、生後6週の時、眼病のために病院に行き、へたな医者で誤った薬品治療で視覚障害者になりました。ある日、おばあさんが読んでくれたヨハネの福音書9章の「あなたが視覚障害者になったことは神様の計画がある。神様の栄光を現わすためだ」というメッセージが幼いクロスビーの心の中に刻まれました。30才になった時、教会の集会に参加して聞いた讃美歌の中で、彼女は人生最大のターニングポイントを迎えます。「ああ主は誰がため、世にくだりて...」主が自分のために死なれたという事実が信じられ始めたのでした。そして「このからだしか、ささげる必要がなくて、このからだをささげます」という告白をするようになりました。彼女は自分に詩を書ける才能があることを発見しました。彼女が初めて作詞した曲が「われに來よと主はいま、やさしく呼びたもう...」です。牧師が同情してなぐさめたときにも「牧師先生、私が生まれる時、神様に祈ることができたとすれば、私は盲人に生まれるようにしてくれという祈りをしたでしょう。なぜなら私が天国に行った時、私の目が一番最初に見て、好きになり得る顔が私の主の御顔であるからです」と告白しながら、感謝したのでした。不平不満ではなく、感謝をもって神様の恵みにいつも感激したクロスビー、彼女と一緒にいた周辺の人々は、神様が彼女とともにおられることを感じるほどであったということです。私たちもこういう人生のために神様が呼ばれたのです。

私の人生の苦難が反復される時 まず最初に悟らなければならないことがあります。最初に救いに対する感謝を悟ることです。この世の中には、神様がともにおられる救われた者に勝つことは何もありません。二番目、神様が私にくださった身分に対する感謝を悟らなければなりません。ヤコブの名前をイスラエルに変えてくださったように、私たちの身分を神様の子どもに変えてくださいました。神様が責任を負って、歩みごとに共におられるベテル(神様の家)の人生です。三番目、伝道と宣教の祝福を悟らなければなりません。神様の絶対的な計画である世界福音化が成されるその日まで、神様は私たちを導いて祝福されるでしょう。

それで、今から救われた者にくださった7つの祝福と未信者状態に勝つ6つの権威、世界福音化の祝福を味わう祈りを始めなければなりません。本当に福音のなかで祈れば良いのです。神様の子どもという身分の中で、世界福音化という契約の中で祈れば良いのです。この時、ヨセフのように「主の聖霊が共におられるんだな!神様が共におられるんだな!このひとが福音を悟って神様が共におられるようになったんだなあ!」という事実を人々が見るようになります。そうすれば、全てものは答えでつながるようになっていきます。毎日のできごとごとに、人に会う時ごとに、その中で祈りの答え、みことばの成就、神様がくださる証拠を捜し出すのが、私たちの信仰生活です。

説教_柳光洙牧師、整理_チャ・ドンホ牧師



毎日毎日の森の泉

16日(月)

私のものを見つけましょう(テモテ 2:3~7)
神様の子どもには、子どもの祝福と権威があります。これを味わう時間が特別祈りの時間で、その中に専門性、唯一性、未来性を見つけるのが定刻祈りです。成功者の規律をそらえて勝利する道が常時祈りです。

17日(火)

次世代(レムナント)運動の中心になる RUTC (使徒 19:8~10)

ユダヤ人は、全世界のあちこちに会堂を作っただけで、人材を育てながら世界を掌握しました。私たちは、レムナント共同体訓練場を通して、各個人のアイデンティティと答えを個人化させて、専門化、世界化、弟子化、宣教化して、未来を生かさなければなりません。

18日(水)

過去を祝福に変えた人々(イコリント 5:1~7)
福音のなかで過去は祝福の土台になります。神様が私とともにおられる事実を祈りの中で見つけ出して、成功者の規律をそらえながら、私の過去と問題を持って、引続き福音の中に入れば、大きい答えを味わうことができます。

19日(木)

私たちはそのことの証人です(使徒 5:17~32)
私に力があれば人時代を生かせます。信仰生活に成功した人々は、問題と問題でないことを分別して、運命と災い、霊的問題の後にはサタンの働きがあることを分かりました。そして、その解答がイエス・キリストであることを知ってあかししました。

20日(金)

どこにいても(使徒 5:33~42)
神様が私とともにおられることを味わえば、神の国が臨んで、私の限界を越えて聖霊の満たしを受けるようになります。どこにいても、これを見つけて味わう時、備えられた弟子との出会いと宣教の門が開かれる祝福を味わうようになります。

21日(土)

福音の中にいる私を見つけましょう (テモテ 2:1~7)
キリストの中にある恵みの中で、キリストの中にある力の中で、キリストが与えられる生き方の中で私を発見する時、霊的戦いをする兵士、真の勝利を味わう競技する者、実を収穫する農夫の答えを味わうことができます。

週間メッセージ

産業宣教	世の中の文化と教会(創世記 6:1-5)
伝道学	読書する習慣(詩 1:1-6)
核心訓練	タラッパンとキャンプ (使徒 2:1-13)
聖日 1部	ヤコブの祈り(創世記 32:23-32)
聖日 2部	パウロ、勇気を出しなさい (使徒 23:1-11)



イラスト_ユン・スルギ

幸せな メッセージ

この頃は、あまりにも凶悪な事件がしばしば発生するので、人々の警戒心が高まって、信じなければならぬのが人であるのに、お互いが不信になる場合がとて多くなった。特に、女性に対する無差別な犯罪が多いので、互いに用心しあったり、子どもを保護しようとする意図で少し大きさに犯罪の類型を説明するので、子どもたちが理由のない恐れを持つようになっている。教会は罪人が集まる所であるが、罪が多い人々が集まる所ではなく、罪に対する自覚をして、罪の警戒心を持って、罪に敏感な人々が集まる所だ。もう少し深く話せば、罪を許された人々で、もう少し实际的に話せば、罪がなくなった人々の集いだ。それで、教会は宗教的な心を持った人々には、罪を解決する赦しの家になって、福音の事実を持った人には罪を解決された答えの家になるのだ。

昔の話ではあるが、田舎の神学校の女子寄宿舎に泥棒が入ったという。貧しい神学生だったので、お金もないだけでなく、お金になるものも見つけられなかった。ちょうど、分厚い黒い財布が見えたので、開けてみようとする瞬間、人気に気づいて、さっとつかんで逃げて、家に帰って見たら本だった。どうせ持ってきたついでだと、開けて見たら「盗む者はまた盗まずに元に戻して、貧しい者を救済することができるように、自分の手で苦勞して働きなさい」という文章が記されている聖書だった。泥棒はこれを読んだ瞬間、突然に心が殴られたようになり、苦しくなって、直ちに泥棒生活を清算して、信仰の道に入り、立派な牧師になったという。ある日、その牧師の奥さんである牧師夫人が部屋のそうじをしていて、牧師の引出しに古くて黒い聖書を発見したが、とても見覚えがあるものだったので、牧師に聞いたところ、牧師がにっこりと笑いながら、自分の

過去を告白したのだが、その話を聞いた牧師夫人が明るく笑いながら、その聖書の持ち主が自分だったと告白した。これに牧師が仰天して、驚きながら、神様の導きに感謝したということだ。世の中では罪人が罪を告白すれば罰が与えられるが、教会では罪人が罪を告白すれば罪がなくなる。魔術のようなことだが、それがまさに福音の力だ。

解決したいことがあれば、人々は簡単に占う所へ向かう。爪の下に真っ黒に垢がついた手で占った結果に、人々は泣き笑いをするが、それは真の解答ではない。人生を本当に変えるのは、メッセージが聞こえるようになるみことばを受ける時だ。伝道者が伝える一言のメッセージが、人生の転換点になって、真の祝福の道を知るようになる。知らなかった時代には知識なしで行ったが、今は、福音の光が照らしている光の新しい日々だ。信じさえすれば救われるという約束は、キリストが人間になって、その方が罪人のために喜んで死なれたことによって、罪人がこれ以上、罪に縛られていなくても良いという幸せなメッセージである。この驚くべき福音の知らせが伝えられているが、それを真に受け取る者は、まさにあなたでなければならない。

文_チョン・ヒョングク牧師(福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまで連絡してください